

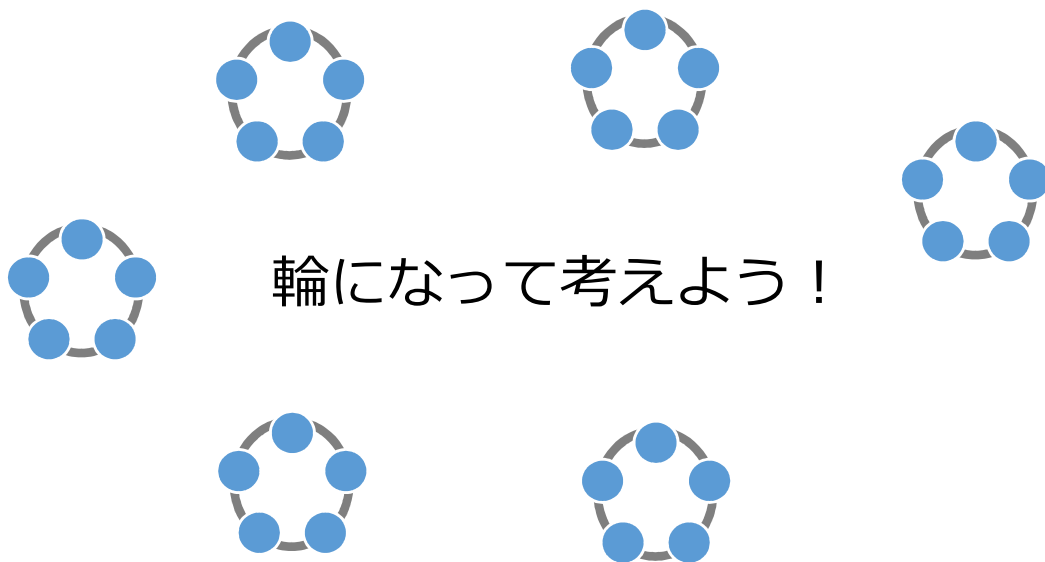
今期市民検討会のまとめについて

1. 前回検討した内容の振り返り

- (1) グループワークで出た意見
- (2) 全体で確認した事項
- (3) 有識者協議会委員からの講評

2. 今期市民検討会のまとめについて

- (1) 折衷案と公園中心パターンの想定事業費を試算する際の前提条件
- (2) 前回までに出た意見の整理
- (3) まとめ（案）の確認
- (4) 次期市民検討会委員へ伝えたいこと





1. 前回検討した内容の振り返り

(1) 評価シートの集計結果を確認した後、グループワークで検討パターンの優先順位を考えました。

各グループの結果と主な意見

<公園WG> ①折衷案

- ・ 「鹿沼公園中心パターン」に関する評価として、評価が集まっている項目は、「**財源の確保**」と考えた。
- ・ 「折衷案」を選ぶポイントとして、「財源の確保」以外に以下の3点が重要と考えた。
①誰でも利用しやすい ②自然環境に配慮した機能への対応 ③空間、場所を意識させる機能への対応

<公共施設WG> ①折衷案 ②公園中心パターン

- ・ 各検討パターンのメリット、デメリットを具体的に考え、3つの検討パターンに絞り込まれた。
- ・ そのうち、「図書館敷地中心パターン」は、**サービスの継続といった点で課題**があり、候補から除外した。
- ・ 「公園中心パターン」のメリットとして、①**サービスの継続** ②**財源の確保**が挙げられた。
- ・ **公園への影響を抑えられる「折衷案」の方が、どちらかと言うと優先度が高い結果となった。**

<まちづくりWG> ①折衷案 ②公園中心パターン

- ・ **なるべく既存の公園の機能を減少させない**という考えの下、「折衷案」が最も優先度が高い結果となった。
- ・ 公園中心パターンについても、公園を減少させないという考えを持つのであれば、容認できるものと考えた。
- ・ 折衷案で、**複合施設を現在の図書館敷地の中に設置するのか、現在の公園敷地の中に設置するのか**までは、まとまらなかった。



1. 前回検討した内容の振り返り

(2) 市民検討会全体で、検討パターンの優先順位について意見交換を行いました。

主な意見

- ・折衷案と公園中心パターンに絞ってメリット・デメリット等を比較していけば、市民検討会としての絞り込みができるのではないか。
- ・折衷案の中にも様々なアイデアがあり、ある程度幅を持たせた結論とする必要があるのではないか。

(3) 有識者協議会委員から講評をいただきました。

有識者協議会委員の講評

<野口委員>

- ・公園内の施設配置については、以前の検討会で検討しており、再度確認をして欲しい。
- ・「公園の機能」とは何か、木があれば公園？ 公園に何を求めるのかを考える必要がある。

<山口委員>

- ・基本的な方向性として折衷案がメイン、公園中心パターンがその次という方向性が出た。
- ・両案の違いを丁寧に整理し、市民検討会の結論が実際の計画に反映させられるように。
- ・単にどちらのパターンが良いかではなく、それぞれのパターンのポイントを比較すること。

<小山委員>

- ・実現不可能と思われるようなアイデアであっても記録し、次期市民検討会の材料として、留意事項に加えてはどうか。
- ・例えば、10年後にこの場所で、誰がどのような活動をしているのか、イメージできるようなまとめが最終的にできるとよい。
- ・次回は、次に伝えたいという想いをみなさんと一緒にまとめていきたい。

2. 今期市民検討会のまとめについて



(1) 折衷案と公園中心パターンの想定事業費を試算する際の前提条件

第14回市民検討会 事前送付資料の一部を抜粋

鹿沼公園中心パターン

○ 施設配置の概要

- 図書館、公民館、まちづくりセンター、青少年学習センター、国際交流ラウンジ、児童館を鹿沼公園内に複合化

複合施設の延床面積

7,885㎡ → 7,095㎡ (-10%)

- 自転車駐車場は個別建替(延床面積3,610㎡)
- 公園は全面リニューアル



想定事業費 (80年間)	627.4億円 建設費 53.4 維持管理費 574.0
国庫補助金	14.7
土地活用益	57.0
市負担額	555.7億円

<ポイント>

- 建設の際に仮設が不要。
- 延床面積の削減による維持管理費の削減効果が見込める。
- 国からの国庫補助金や地方交付税措置により、市負担額の軽減が見込める。
- 土地活用益として、売却益又は賃借料のほか、固定資産税等の税込増が見込める。

鹿沼公園中心パターンと図書館敷地中心パターンの折衷案

○ 施設配置の概要

- 鹿沼公園と図書館敷地を一体的に利用し、図書館、公民館、まちづくりセンター、青少年学習センター、国際交流ラウンジ、児童館を鹿沼公園内に複合化

複合施設の延床面積

7,885㎡ → 7,095㎡ (-10%)

- 自転車駐車場は個別建替(延床面積3,610㎡)
- 公園は全面リニューアル



想定事業費 (80年間)	632.4億円 建設費 58.4 維持管理費 574.0
国庫補助金	14.7
土地活用益	23.4
市負担額	594.3億円

<ポイント>

- 建設の際に仮設が必要。
(図書館のみ計上 5億円)
- 延床面積の削減による維持管理費の削減効果が見込める。
- 国からの国庫補助金や地方交付税措置により、市負担額の軽減が見込める。
- 土地活用益として、売却益又は賃借料のほか、固定資産税等の税込増が見込める。

2. 今期市民検討会のまとめについて



(2) 前回までに出た意見の整理 【折衷案と公園中心パターンで項目評価の結果に差が現れた項目】

評価の視点		評価の視点の説明	鹿沼公園中心	公園と図書館 折衷案
公共施設	①老朽化への対応	厳しい財政状況中でも、施設や設備の老朽化への対応ができる。		★
	②災害時の対応	災害時の防災拠点としての対応ができる（災害に強い建物、避難スペースの確保等）。		★
	③施設間連携・効率化	施設間の連携や効率的な施設運営ができる。		★
	④活動スペースの確保	現在の利用状況に対して、必要なスペースを効率的に確保することができる。		★
	⑤新たなニーズへの柔軟な対応	現在または将来において、新たなニーズに対して柔軟に対応することができる。		★
	⑥誰でも利用しやすい	施設を利用したことがない人や幅広い世代にとって、利用しやすい施設とすることができる。		★
公園	①防災を重視した機能への対応	公園は地震や風水害時に防災機能の大きな役割を担っており、それが期待できる		★
	②安全・安心に配慮した機能への対応	自転車の分離、夜間に安心して利用できる環境、バリアフリー機能の向上が期待できる		
	③自然環境に配慮した機能への対応	樹木の魅力や質の向上が望める。季節感、ヒートアイランド軽減などの見えない効果が期待できる		★
	④空間、場所を意識させる機能への対応	心身の健康、地域コミュニティ、子育てとしての場や 野球場空間の新たな使い方が期待できる		★
まちづくり	①暮らしやすい居住環境の保全	住宅地として、交通面や児童の通学時における安全が保全できる。		★
	②生活利便性の維持・向上	公共施設や商業施設を利用する際の利便性が維持・向上できる。		★
	③まちなみの景観の統一などによる魅力の向上	駅前や住宅街などとの調和が図れる。		★
	④地域のネットワークの形成	団体間、世代間など多様な地域コミュニティが繋がることことができる。		★
実現に向けた課題	①財源の確保	国からの補助金や、跡地の活用益（売却・定期借地）が見込める。	★	
	②維持管理・運営コストの削減	維持管理・運営コストの削減が見込める。	★	
	③市民サービスの継続	工事の際に、必要最小限の経費で、市民サービスが継続できる（仮設施設等の整備が不要等）。	★	
	④建て替え用地の必要性	市有地内に、建て替え用地や工事ヤードの用地が確保できる。		
	⑤周辺住民への配慮	周辺住民に対して、工事中や工事後に与える影響が少ない。	★	



2. 今期市民検討会のまとめについて

(2) 前回までに出た意見の整理 (続き)

【折衷案と公園中心パターン比較のポイント】

ポイント① 折衷案の評価が高い理由

- 複合施設や駐車場の設置、公園外周道路の拡幅等には、一定の敷地が必要となる。
- 一方、鹿沼公園については、「既存の公園の良さを残したい」という意見もある。

⇒折衷案は、公園に隣接する図書館敷地を一体的に利用することで、公園への影響を抑えつつ、公共施設の再整備等を行えることへの期待から、評価が高かったと考えられる。

ポイント② 図書館敷地の在り方

- 改めて両案を比較すると、図書館敷地を一体的に利用するか否かが、最も大きなポイントとなる。
- 図書館敷地を活用できれば、より多くの土地活用益を見込むことができる。
- 一方、図書館敷地に複合施設を設置する場合、工事期間中の図書館サービス継続のために仮設が必要となり、想定事業費の増加や、サービス休止期間が長くなることが課題と考えられている。

⇒例えば、折衷案として図書館敷地を一体利用する場合で、「**図書館を含めた複合施設**」を鹿沼公園側に設置すれば、図書館敷地に係る土地活用益は見込めないが、サービスの継続など、実現可能性はより高まると考えられる。

公園中心パターン

- 敷地の一体利用ができない
- 図書館敷地に関する活用益が見込める。
- 仮設が不要

※○：メリット ●：デメリット

折衷案 (図書館を含めた複合施設は鹿沼公園側)

- 敷地の一体利用ができる
- 図書館敷地に関する活用益が見込めない。
- 仮設が不要

折衷案 (図書館を含めた複合施設は図書館敷地側)

- 敷地の一体利用ができる
- 図書館敷地に関する活用益が見込めない。
- 仮設が必要

(3) まとめ (案) の確認

第15回のまとめ (案)

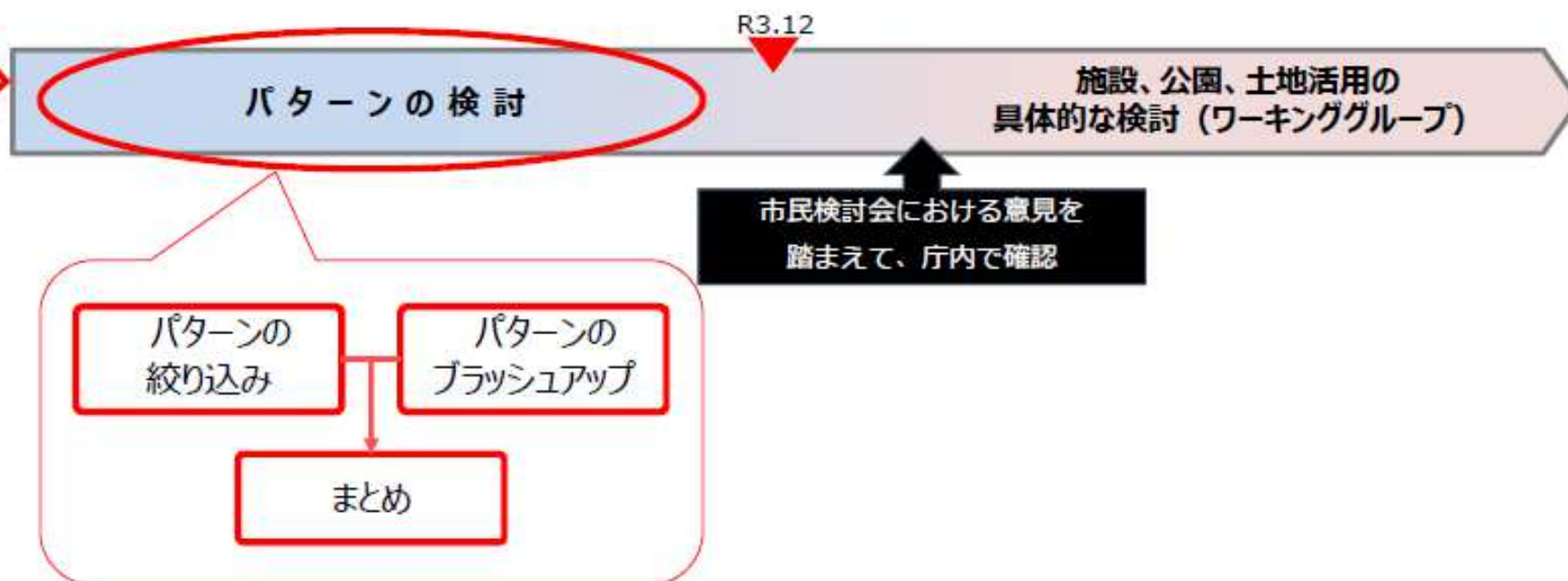
- 鹿沼公園と図書館敷地を一体的に利用して再整備を行う。

今後の進め方 - 12月末までの進め方（案） -

第12回市民検討会資料より

12月末までの進め方（案）

- ① 早い時期にパターンに関する議論を終え、より具体的な検討を始めたところで、次期 市民検討会委員へ引き継ぐ。
- ② 本年12月末までに、パターンに関する議論を尽くし、より具体的な検討は、次期 市民検討会委員に委ねる。
- ③ 令和4年1月以降も、次期 市民検討会委員により、パターンの議論を継続する。



2. 今期市民検討会のまとめについて

(4) 次期市民検討会委員へ伝えたいこと

◆次期市民検討会委員へ伝えたいことのイメージ

検討パターンのより具体的な内容を次期市民検討会委員に委ねるに当たり、

- ・ 現市民検討会委員が感じていること
- ・ 次期市民検討会委員に考えて欲しいこと
- ・ 将来こうあって欲しい（誰が、どこで、どんな活動をしているか等）という想いや夢

などをまとめたいと思います。

- ※ 前回（第14回）市民検討会までに検討した「評価の視点」や「検討パターンの優先度」を踏まえて記入してください。
- ※ 「必ずこうすること」や、「これ以外は容認できない（must）」ではなく、「こうあって欲しい」、「検討の際に考慮して欲しい」、という主旨で記入してください。

次期市民検討会委員
へ伝えたいことにつ
いて、みんなで輪に
なって考えよう。

